

令和6年度 第2回清川村まち・ひと・しごと創生推進会議 議事録

1 日 時 令和6年10月21日（月） 午後2時00分～3時50分

2 場 所 清川村役場庁舎 3階 第2・3会議室

3 出席者 【委 員】

大 学：松蔭大学観光メディア文化学部 客員教授 鷲尾 裕子

大 学：東海大学経営学部経営学科 教 授 亀岡 京子

産 業：清 川 村 商 工 共 栄 会 会 長 山口 昌興

産 業：清 川 村 森 林 組 合 組 合 長 高野 進

産 業：宮ヶ瀬水の郷観光協同組合理 事 藤谷 健一

教 育：清 川 村 校 長 会 会 長 船津 慎一

金 融：横 浜 銀 行 厚木支店長 石井 智之

メディア：神 奈 川 新 聞 社 森 俊行

子育て：あおぞら保育園（社会福祉法人 白梅福祉会）理 事 長 倉山 郁一

公 募：増田 美智子

行 政：神奈川県県央地域県政総合センター 所 長 水谷 俊輔

（※欠席）

産 業：厚 木 市 農 業 協 同 組 合 清川支所長 程島 俊明

公 募：竹内 麗子

4 事務局 【政策推進課】

岩澤課長、黄金井主事、木村主事

5 内 容

1 開 会

2 あいさつ

3 議 題

(1) 清川村人口ビジョン（改訂版）（案）について

(2) （仮称）第3期清川村まち・ひと・しごと創生総合戦略（素案）について

(3) その他

4 閉 会

司 会 1 開 会

2 あいさつ

座 長 座長あいさつ

3 議 題

(1) 清川村人口ビジョン（改訂版）（素案）について

事務局 ※資料１に基づき説明

座 長 確認だが、人口ビジョンの改訂は、第３期総合戦略を策定するにあたり、必要な作業ということで正しいか。

事務局 その通りです。

座 長 議題（１）の意見・質問は、議題（２）の説明の後にあわせていただくこととする。

（２）（仮称）清川村まち・ひと・しごと創生総合戦略（素案）について

事務局 資料２に基づき説明

座 長 Ｊクレジット制度について、説明をお願いしたい。また、今まで村は参加していなかったのか。近隣で行っている自治体はあるのか。

事務局 適切な森林管理によるＣＯ２の吸収量をクレジットとして国が認証する制度です。村の村有林は、県の方から水源環境保全税をいただき、整備し良好な環境が保たれています。利用しない吸収量を売却して収入を得たり、足りない削減量を調達し、ＣＯ２削減量を調達した側の実績とすることができます。申請、登録し実施する制度で、現在担当課で準備を行っており、手続きが終わり次第、村の吸収量を企業側が購入できるという仕組みです。近隣では、相模原市が取り組みを始めました。

座 長 森林を有効に活用し、利益を生み出すものとして活用していくのは良い。子育て支援や高齢者支援はあるが、その間の世代への支援が見えてこない。

事務局 現役世代に対しては村での就労や創業以外に、本計画の趣旨からも掲載している支援策は少ないが、それ以外の世代には例えば、基本目標３の重点施策１のところで、県の婚活支援事業に今年度から村も協力させていただいていますし、また、基本目標４のところでは、近年コミュニティが希薄化していると言われている中で、年配の方の力を借り、若者に「ふるさと」のよさを伝え、地域づくりにつなげたいと考えています。

委 員 人口ビジョンの未婚率について、要因の分析は行っているのか。要因が分かれば基本目標２に繋がると考える。

事務局 分析は行っていないが、未婚率が高いことは課題と捉えています。村の婚姻率を上げたく、県の婚活事業についても、村広報紙等で周知に取り組んでいます。

委 員 未婚率の高さは、サンプル数の問題もあるように思う。

委 員 村営住宅も空室が続いているところがある。課題として感じている。

座 長 入居に条件はあるのか。

事務局 子育て世代型村営住宅は対象を絞っています。それ以外の村営住宅は対象を広くしていることもあり、空室が出ると反響が大きいです。また、以前は空き家を活用した村営住宅もありましたが、運用が難しく、空き家について今後は起業活用にチャレンジしたいと考えています。そのことが基本目標１に記載してあります。

座 長 創業支援などについては、目的を掲げて募集することがあっても良い。また、村外の方だけが対象でなく、村内の方が対象でも良い。

委員長 ビジネスプランコンテストを開催し、起業希望者が創業相談できるスキームをつくるのも良い。

事務局 創業相談について、現在村では優遇施策はありませんが、それでも村内に企業が来ており、引き合いがあります。基本目標1の重点施策1は起業誘導、重点施策2は村内での創業という形で記載していますが、計画において、取り組んでまいりたいです。

委員長 宮ヶ瀬を活性化しようという動きがある。若い世代に頑張ってもらいたいが、物価高騰を受けて思うようにいかないのでは。

座長 宮ヶ瀬は大切な観光資源である。基本目標1に結び付け、活性化する仕組みも作らなければいけない。

事務局 企業誘導も含め盛り上げていきたいと考えています。付加価値を宮ヶ瀬に付けていきたいと考えます。

委員長 基本目標2に関連するところだが、人口ビジョンを見ると東京、横浜、川崎などからは転入超過であるということか。

事務局 この表は国勢調査を基にまとめたものであるため、調査のずれが原因と思われますが、実際のところは転出の方が多いです。

委員長 都市圏からの転入の理由も分かれば政策に生きてくると思われる。

委員長 若い方たちの意見をもっと吸収すべきと考える。

座長 若い方のコミュニティも必要と考える。若い方の意見を聞く機会があるのか。

事務局 中学3年生を対象にワークショップを毎年実施しています。また、今年度から、実証実験ではありますが、新しいコミュニティを創る取り組みを始めました。総合計画のワークショップ委員会を中心に幅広い年齢層で懇談会を開催します。

委員長 集める側も若い人だと集まりやすい。

座長 同窓会には力がある。そこで意見を聞くこともできる。村には同窓会組織はあるのか。

事務局 村が関与している組織はありません。

委員長 一度転出した人がまた村に戻ってくるのは、村と繋がりが途絶えていないという事。これは大事な事と思う。村に関わることで印象が変わることもある。良い印象が広がっていけば良い。また、子どもたちも、村のことを知らないことがある。村全体を子どもたちが意識する取り組みがあると良い。

委員長 伝統行事に積極的に参加する取り組みがあっても良い。人と何かをつくる楽しさを伝えていけると良い。

委員長 3,000人を維持するのは非常に難しい。民間資本を積極的に活用することで将来目標人口に近づけると考える。

委員長 村をアピールし、来てもらうことも必要だが、村ならではの体験を、空き家を活用して行うなど、村に必然的に来ないといけないう思わせることも必要と考える。地域の特産もやまなみ地域で連携していくことがあっても良い。

事務局 産学官民で連携し、地域に入っただき盛り上げていく必要があると考えています。

委員 村にしかないものがたくさんある。子どもたちも自然の中で生きている意識がある。村の伝統を伝えていくことも大切。

座長 各世代が繋がっていけると良い。また、前回会議から出た意見を読んで、自然の中で安全に過ごせることも重要と思った。

(3) その他

事務局 意見提出及び連絡事項について説明

座長 次回の開催も今回と同様に、事前に会議資料をいただけると良い。

司会 以上で令和6年度第2回清川村まち・ひと・しごと創生推進会議を閉会します。